



## NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇

指揮：挟間美帆 演奏：東京フィルハーモニー交響楽団、挟間美帆 m\_big band

NEO-SYMPHONIC JAZZ at Geigeki

### ジャズ史を彩る「色」にまつわる名曲を——

ジャズ・ミュージシャンがタイトルに「色の名前」を付けたとき、そこにはどんな思いが込められているのだろう？



*Hazama Miho*

前回公演 (2020年) より

Hikaru. ☆



前回公演 (2020年) より

Hikaru. ☆

グラミー賞にノミネートされる等、ジャズの本場アメリカでしっかりと評価を受け、ヨーロッパでも華々しい活躍をみせるジャズ作曲家の挟間美帆。彼女の肝いり企画として2019年から始まった「NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇」は、これまで度々あったような、単にジャズ・ミュージシャンがクラシックのオーケストラと共演するコンサートではない。クラシックとジャズの要素が相殺されることなく、互いの本領を発揮できる演目が並ぶことで、初回から大評判を呼んだ。

3回目となる今年は、挟間が客演常任指揮者を務めるメトロポール・オーケストラ（世界唯一のジャズとポップスに特化した管弦楽団！）の創立75周年のために書き下ろした《Splash the Colors》を日本初披露するとともに、この新曲のタイトルが今回のプログラム全体のテーマにも設定されている。「これまで彼らのためにいくつもアレンジしてきましたが、作曲作品を提供するのはこれが初めてなんです。夢にまでみた憧れのオーケストラのために作曲したわけですから、自分にとって大切な1曲になりました。この華やかなタイトルに見合うような曲をどんどん連れてきて、

みんなで色鮮やかなパーティーができないかなと考えてプログラムを組んでいます」

色の名前をタイトルに含む名曲は、古今のジャズに数多く遺されてきた。その中から彼女が、まず選んだのはデューク・エリントン、穉吉敏子、マリア・シュナイダーといったビッグバンドおよびラージアンサンブルの領域を切り開いてきた、挟間が歩む道の先駆者たちの作品だ。「穉吉さんの《Long Yellow Road》は、彼女自身が「このYellowには黄色人種という意味もあり、人種差別のある米国で過ごしてきた“長く苦しかった自分の人生”という意味も込められている」と語っています。エリントンの《Black, Brown & Beige Suite》も人種というアイデンティティに沿った作品。去年のBlack Lives Matterでは様々な人種が混ざって同じ運動へ向かう様子を間近に見ました。いま生きているこの時代が少しずつではあるけれど多様性に対して寛容になろうとしていることに、感謝すべき

だと感じています」

一方、マリア・シュナイダーの《Green Piece》については、ゲストとして出演するヴォーカルの吉田沙良（モノクル）が歌詞のないヴォカリーズによって加わる予定だという。

「沙良ちゃんは、いろんな音楽の橋渡しになれる存在だと思っています。その上、ちゃんと譜面が読めて〔※吉田は洗足学園音楽大学出身〕、楽譜をもとに会話ができ、それが彼女自身の中で消化されると「吉田沙良」というブランドの上に成り立っている音楽になって出てくる。ジャンルでカテゴライズする必要がないというのが最大の魅力ですね」

もちろん彼女が普段歌っているモノクルの楽曲からも、挟間のオーケストレーションによるシンフォニックなサウンドと共に披露される予定だ。「色」と「歌」という親しみやすいキーワードで、挟間はどんな新しい世界を提示してくれるのだろうか？

取材・文：小室敬幸（音楽ライター）

#### 挟間美帆が語る「音楽と色」

私の作曲した《Splash the Colors》は、楽器の色彩感を意識したタイトルなのですが、調性や音のひとつひとつにも色を感じます。月並みですけどベートーヴェンの交響曲第6番《田園》がF-Dur（ヘ長調）だから、田んぼや自然を思い出して「緑」のイメージに繋がるんです。しかも、今回取り上げるマリア・シュナイダーの《Green Piece》もF-Durなんですよ（笑）

はたまた、鳴っている音としては同じはずでも、どんな調なのかによって感じられる色が変わっていくことでもありますね。例えばFis（F#）とGes（G♭）は鍵盤上だと同じ音ですが、Fisなら「水色」、Gesなら薄くて淡い「ピンク」に感じられたり……。そういう意味で異名同音の感覚ってすごく大事で、インスピレーションにも関連してくるものだなって思いますね。

#### 7月30日 金 19:00開演 コンサートホール

指揮：挟間美帆  
演奏：東京フィルハーモニー交響楽団  
挟間美帆 m\_big band  
ゲスト・ヴォーカリスト：吉田沙良（モノクル）

曲目：デューク・エリントン／ブラック・ブラウン・アンド・ベージュ  
穉吉敏子／ロング・イエロー・ロード  
マリア・シュナイダー／グリーン・ピース  
挟間美帆／スプラッシュ・ザ・カラース（日本初演）ほか



©Hiroyuki Seo